RaQualia
innovators for life

決算説明会
2026年12月期（第19期）
第３四半期

2026年11月　東証 グロース：4579

ご注意 ： 本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。
投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。
また、本資料内の免責事項を必ずご参照ください。

ラクオリア創薬株式会社

Copyright 2026 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

免責事項

◆ 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

◆ それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品（研究開発プログラムおよび化合物）に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制当局からの承認取得、国内外の医療保険制度改革、医療費抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制、新製品開発に付随する課題等が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

Copyright 2026 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

目次

1 2026年12月期
第３四半期ハイライト

2 第３四半期業績

3 三層の企業価値：1階
安定収益基盤

4 三層の企業価値：2階
導出資産・パイプライン価値

5 三層の企業価値：3階
創薬基盤・新規成長領域

6 市場評価・株価推移

7 今後のカタリスト

Copyright 2026 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

RaQualia
innovators for life

1 2026年12月期 第３四半期ハイライト

innovators for life

Copyright 2026 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

エグゼクティブサマリー

第３四半期連結業績

事業収益は前年同期比1.7%増。ロイヤルティ収入が堅調な一方、その他収入は前年同期を下回る
通期の連結業績予想は現時点で変更なし

- 事業収益 2,350百万円、営業損失 238百万円、経常損失 261百万円、四半期純損失 493百万円、EBITDA 102百万円
- 自己資本比率は72.2%へ改善

上市品

テゴプラザンの成長とグローバル展開が継続

- 韓国累計処方額は前年同期比15.3%増。P-CAB市場の拡大が続く中でも、首位のポジションを維持
- 販売国数22カ国。米国では2026年1月にNDAを提出済みで承認に向けた審査が進行中

ペット用医薬品のロイヤルティ収入も順調に推移

- GALLIPRANT®/ENTYCE™/ELURA™：いずれも安定的な売上を継続

導出資産

外部パートナーを活用した価値顕在化が前進

- 久光製薬社に導出したナトリウムチャネル遮断薬の開発段階進展（臨床第 II 相試験）（2026年10月21日発表）

創薬基盤

将来の導出資産・共同研究収益につながる創薬基盤の強化が進展

- 資本業務提携の一環として、HK inno.N社との共同研究を推進
- ファイメクス：IRAK-M分解誘導薬の物質特許について米国における特許査定を受領。アステラス製薬社との共同研究のほか新規の提携先獲得にむけて活動中

第４四半期の焦点

収益の積み上げと成長投資の継続

- 収益：ロイヤルティの着実な積み上げ。マイルストン・契約一時金は計上の有無・時期・金額が未確定
- 企業価値：企業価値を支える３つの層の進展

Copyright 2026 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

企業価値を支える３つの層

上市品のロイヤルティで現在を支え、**導出資産で短中期の価値**を生み、**創薬基盤で中長期的な成長**を実現する

3階 創薬基盤・新規成長領域

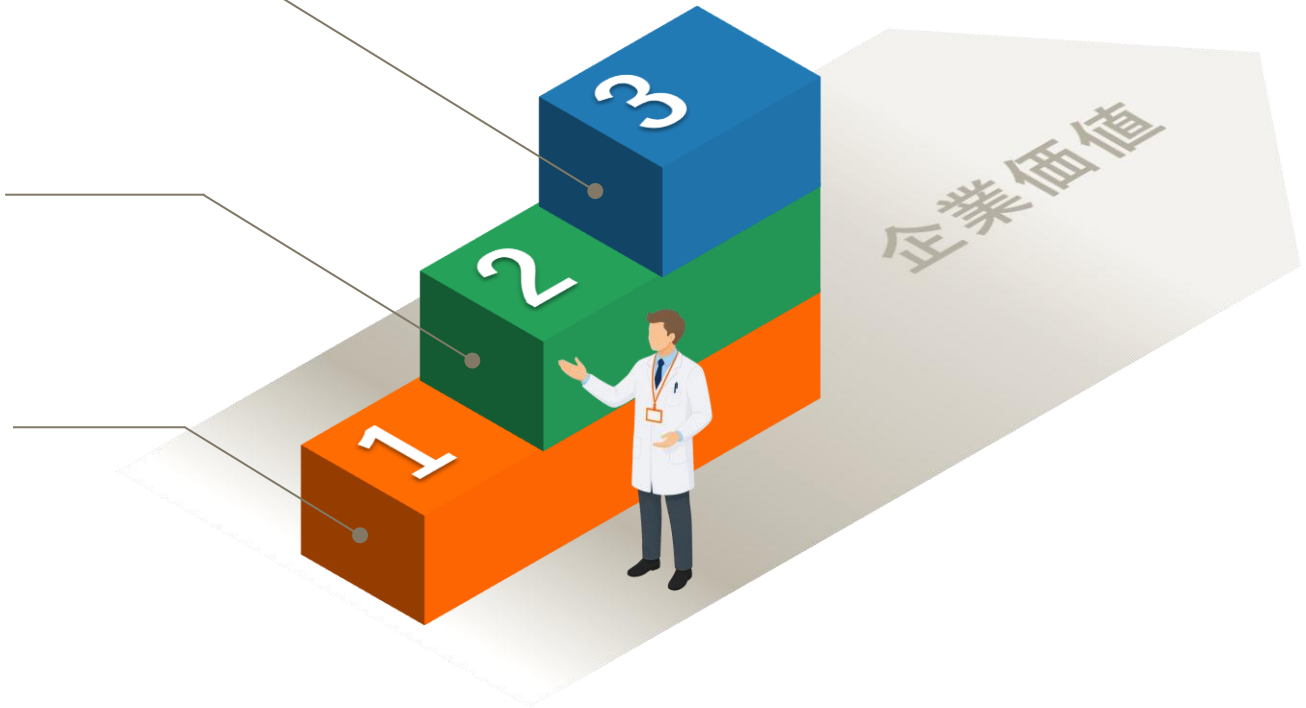
創薬基盤を強化し、将来の開発
候補品と導出資産を創出

2階 導出資産・パイプライン価値

導出資産・既存パイプラインの価値を高め、
収益機会を拡大

1階 安定収益基盤

上市品のロイヤルティが安定的な事業運営と
成長投資を支える



Copyright 2026 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

2026年7月以降の進捗

2026年7月以降の主な進捗を、企業価値の三層構造に沿って整理

3階 創薬基盤・新規成長領域

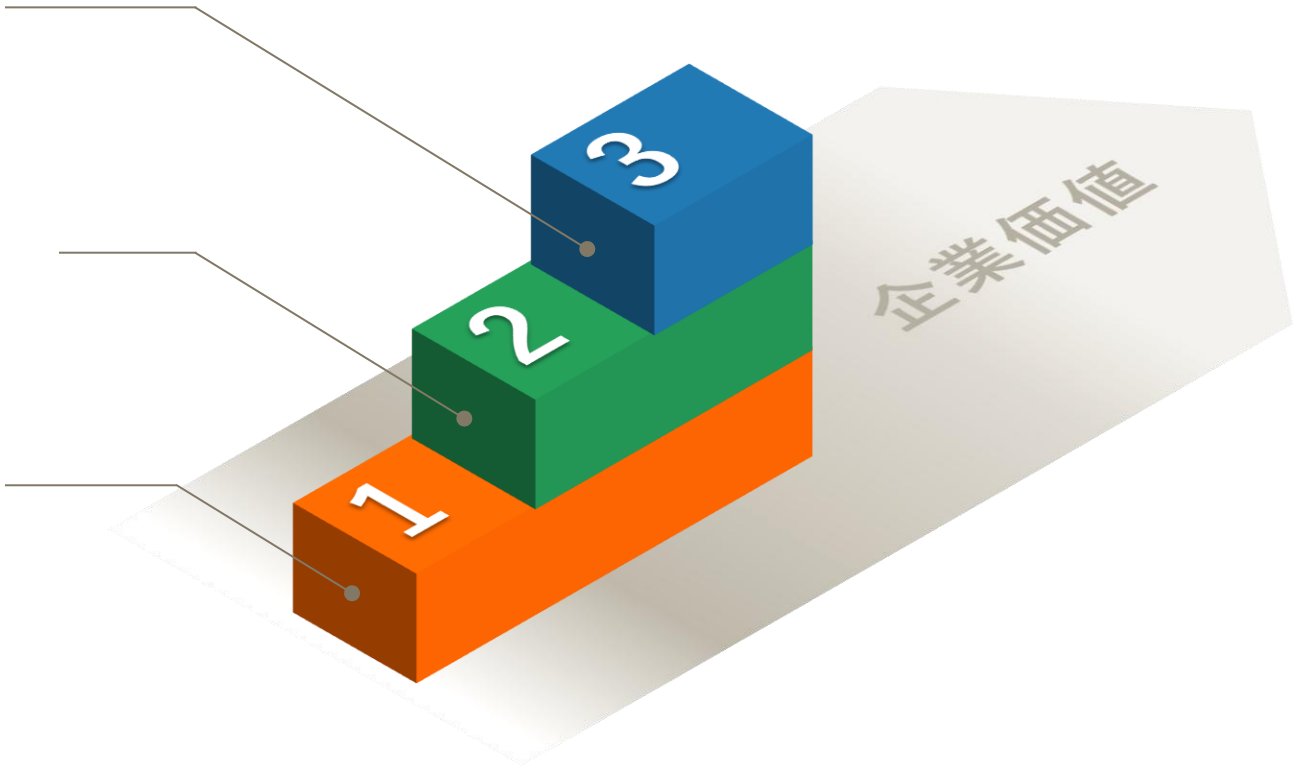
- HK inno.N社共同研究
- ファイメクスのTPD創薬

2階 導出資産・パイプライン価値

- 久光製薬社：ナトリウムチャネル遮断薬
  第 II 相臨床試験開始

1階 安定収益基盤

- テゴプラザン：好調な市場拡大
  （既存市場好調＆米国での進展）
- ペット用医薬品：順調なロイヤルティ推移



Copyright 2026 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

RaQualia
innovators for life

2

第３四半期業績

innovators for life

Copyright 2026 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

2026年12月期 第３四半期 業績概要

単位：百万円

	2025年12月期 第３四半期 （1－9月）	**2026年12月期 第３四半期 （1－9月）**	前年同期比 増減率
事業収益	2,311	**2,350**	1.7%
営業利益	△344	**△238**	-
経常利益	△426	**△261**	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	△568	**△493**	-
EBITDA[1)]	9	**102**	-

1) **EBITDA:** 利払・税引・減価償却前利益

Copyright 2026 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

事業収益の内訳・進捗

通期計画 3,980百万円に対し**当第３四半期で 2,350百万円**を計上

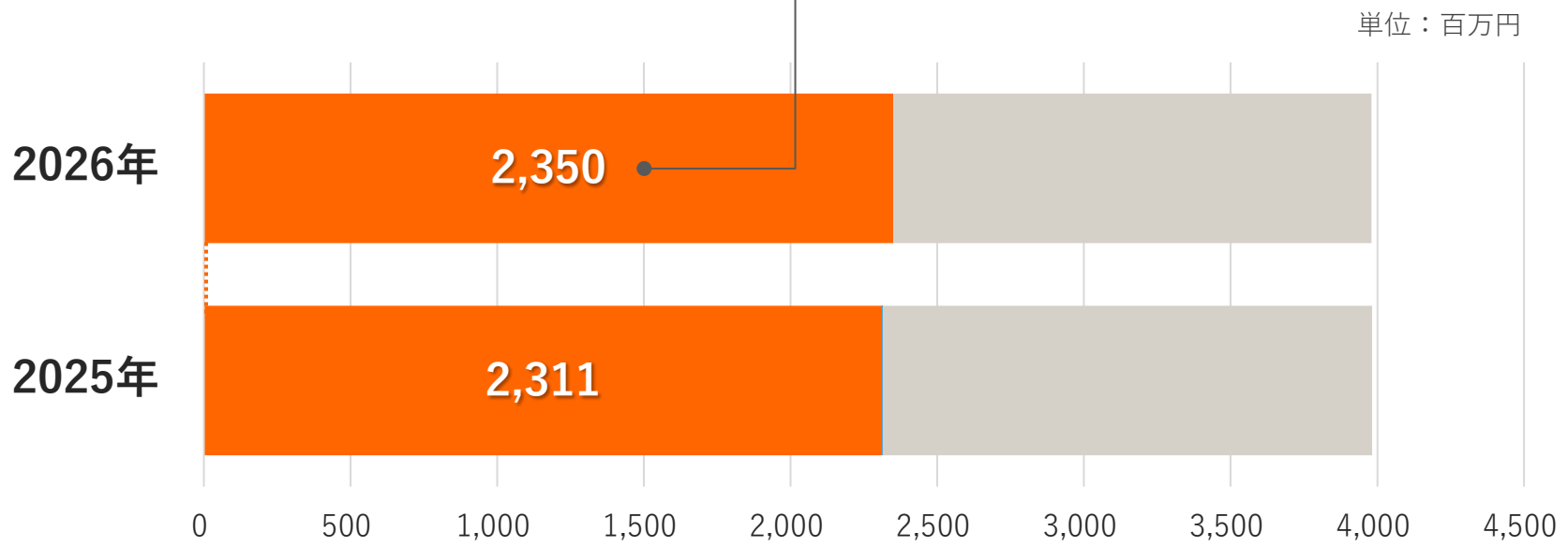
通期計画進捗率

59.1%

内訳）

		前年同期比
ロイヤルティ	2,055 百万円	+20.6%
その他	295 百万円	△51.4%

（契約一時金・マイルストン・研究協力金を含む）



通期

計画　3,980 百万円

実績　3,979 百万円

Copyright 2026 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

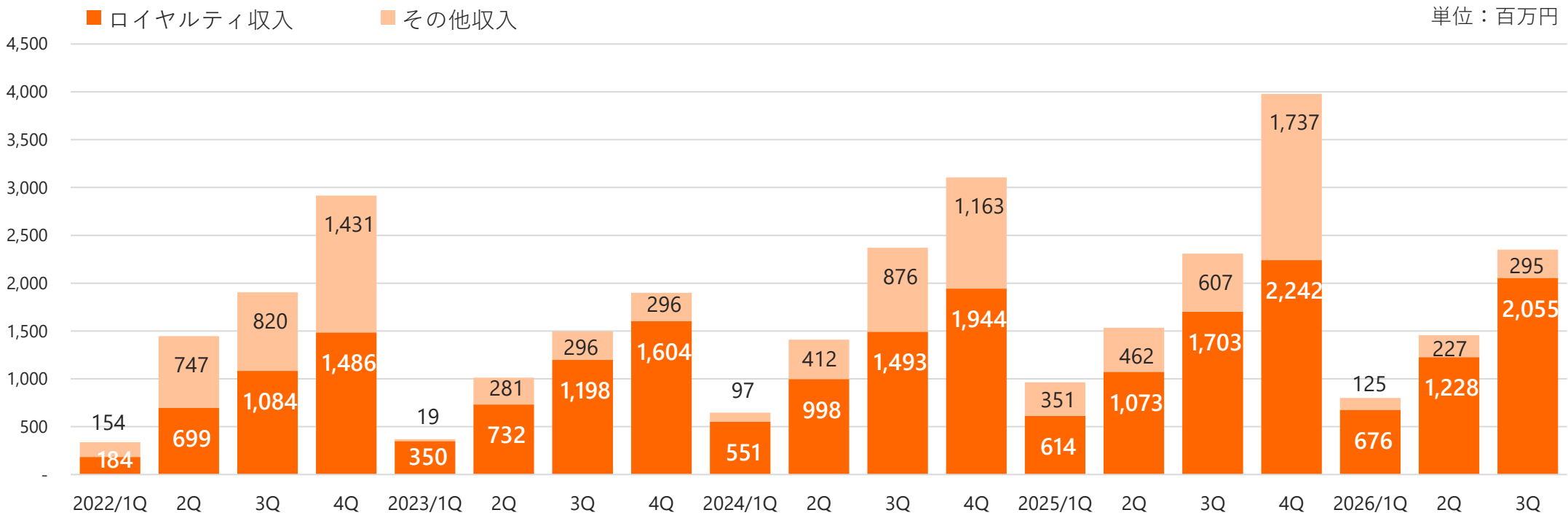
四半期推移｜ロイヤルティ収入とその他収入

ロイヤルティ収入は過去最高ペースで推移する一方、**その他収入は前年同期を下回る**

通期予想の達成には、第4四半期におけるその他収入の計上が必要

現時点では通期の連結業績予想（2026年2月13日発表）を据え置き

ロイヤルティ収入・その他収入の四半期累計推移（2022年12月期～2026年12月期）



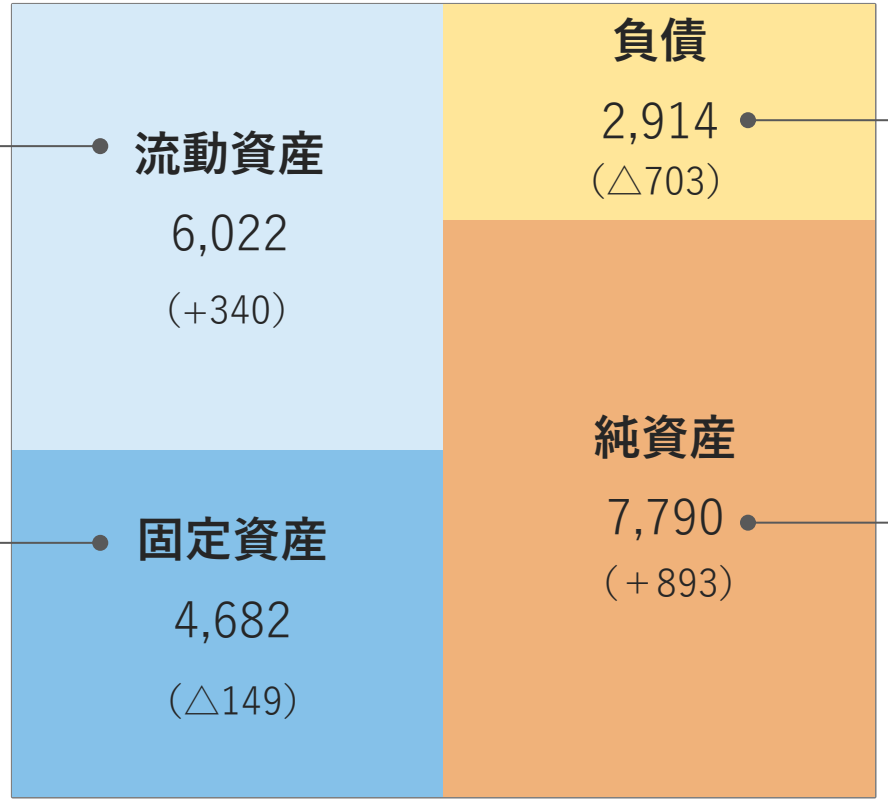
Copyright 2026 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

連結貸借対照表

負債の減少および純資産の増加に伴い**自己資本比率は 72.2%に改善**（前期末比 7.1ポイント増）

連結貸借対照表（対前期末比較）

単位：百万円



資産

前期末比　+1.8%

現預金	+1,414百万円
売掛金・契約資産	△1,367百万円
のれん	△209百万円
前払費用	+100百万円
有価証券	+156百万円

前期末比　△19.4%

長期借入金	△383百万円
未払金	△129百万円
契約負債	△123百万円

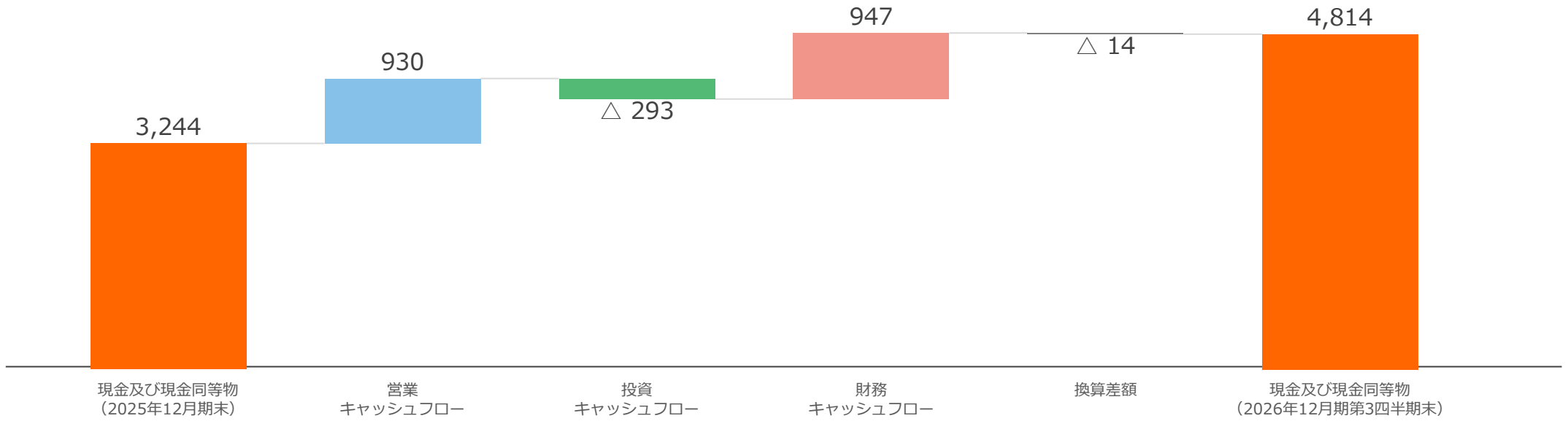
前期末比　+13.0%

資本金・資本剰余金	+1,423百万円
四半期純損失	△493百万円

Copyright 2026 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

キャッシュフロー

現金および現金同等物は**前期末比1,570百万円増加**（48.4%増）



	営業キャッシュフロー		投資キャッシュフロー		財務キャッシュフロー	
主な増加要因	売上債権の減少	1,367百万円	投資有価証券の償還	100百万円	株式発行による収入	1,399百万円
	のれん償却額	209百万円				
	減価償却費	131百万円				
主な減少要因	法人税等の支払	266百万円	投資有価証券の取得	246百万円	長期借入の返済	384百万円
	税金等調整前四半期純損失	261百万円	子会社株式取得	120百万円	リース債務の返済	66百万円
	契約負債の減少	123百万円				

Copyright 2026 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

資金の状況と配分

資金の状況と配分には**大きな変更なし**

資金の状況

	前回発表（2026年8月14日）	今回発表（2026年11月13日）
2026年～2028年の事業収益見通し	128億円	128億円
手元資金（2026年第2四半期末）	53億円	54億円（2026年第３四半期末）
借入余力（コミットメントライン）	5億円	5億円
エクイティ調達（新株予約権）	4.9億円	4.9億円

資金の配分

企業価値最大化に向けた投資

	前回発表（2026年8月14日）	今回発表（2026年11月13日）
探索研究投資[1]（既存領域の拡充）	72億円（3カ年）	72億円（3カ年）
前臨床・臨床開発投資[1]（プロジェクトの価値向上）	3億円（3カ年）	3億円（3カ年）
設備投資（既存設備の拡充・AI/DX投資等）		
戦略投資（創薬技術・パイプラインの獲得等）		

株主還元

- 株主配当金
  財務基盤強化に応じて実施予定
- 自己株式の取得
  機動的に検討

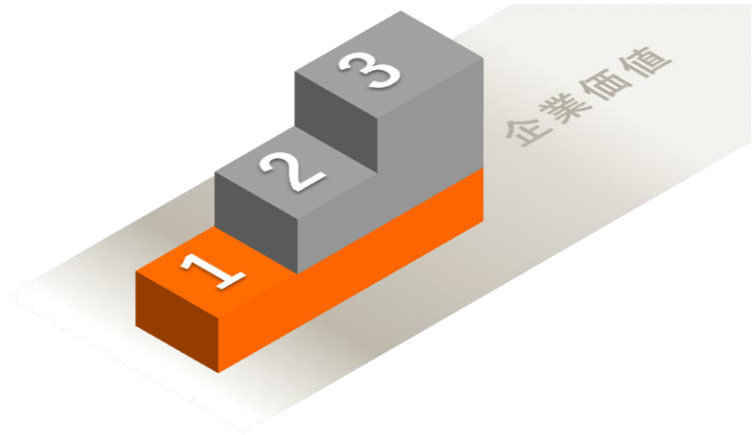
1）人件費を含みます。

Copyright 2026 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

RaQualia
innovators for life

3

三層の企業価値：1階
安定収益基盤



innovators for life

Copyright 2026 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

当社発の上市医薬品４製品

種別	一般名・作用機序	適応症	主な製品名・販売元
 ヒト用	**テゴプラザン** カリウムイオン競合型アシッドブロッカー(P-CAB)	• 胃食道逆流症 • 胃潰瘍 • 十二指腸潰瘍 ほか	**K-CAB®（韓国）** HK inno.N Corporation（「HK inno.N社」） タイシンザン **泰欣赞®（中国）** Shandong Luoxin Pharmaceutical Group Stock Co., Ltd. ほか
  ペット用	**グラピプラント** EP4拮抗薬	• 犬の慢性骨関節炎	**GALLIPRANT®（日米欧ほか）** Elanco Animal Health Inc.（「Elanco社」）
	カプロモレリン グレリン受容体作動薬	• 犬の食欲不振	**ENTYCE™（米国）** Elanco社
		• 猫の体重減少管理[1)]	**ELURA™（米国）** **Eluracat™（欧州）、エルーラ™（日本）** Elanco社

1）適応症は国・地域によって異なり、米国では「慢性腎疾患またはその他の慢性疾患を伴う猫の体重減少管理」となっています。

Copyright 2026 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

ヒト用医薬品｜テゴプラザン製品概要

（2026年11月13日現在）

カリウムイオン競合型アシッドブロッカー（P-CAB）

胃酸分泌抑制剤テゴプラザン



一般名	tegoprazan （テゴプラザン）
適応症	胃食道逆流症、胃潰瘍、ピロリ菌除菌補助ほか
販売元	HK inno.N Corporation（韓国／HK inno.N社） Shandong Luoxin Pharmaceutical Group Stock Co., Ltd. （中国／Luoxin社）ほか
製品名	K-CAB®（韓国ほか）、泰欣赞®（中国）、Ki-CAB®（メキシコほか）、PCAB®（インド）

胃酸に関わる疾患は数多い

胃食道逆流症（GERD）、胃潰瘍、ヘリコバクター・ピロリ感染症など

既存薬（プロトンポンプ阻害薬（PPI））の課題を克服

- ✓ 服用30分以内の速やかな効果
- ✓ 最長６カ月の長期服用でも有効性・安全性が持続
- ✓ 強力な胃酸分泌抑制能
- ✓ 低い薬物相互作用

世界の消化性潰瘍剤の市場は2兆円 1)

中国 4,500億円 1)、米国 4,000億円 1)、日本 2,500億円

全世界の権利をHK inno.N社に許諾

当社は開発の進捗に応じたマイルストン/製品売上に応じたロイヤルティを受け取る

韓国・中国など22カ国 2)で販売中

開発・製造・販売等の事業活動は世界57カ国

1）出所：HK inno.N社IR資料（2025年11月），換算レート：１韓国ウォン＝0.11円

2）韓国、中国、モンゴル、フィリピン、インドネシア、シンガポール、メキシコ、ペルー、チリ、コロンビア、ドミニカ共和国、ニカラグア、ホンジュラス、グアテマラ、エルサルバドル、パナマ、マレーシア、インド、タイ、ロシア、パラグアイおよびエクアドル

Copyright 2026 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

韓国におけるK-CAB®の売上高は引き続き好調に推移

K-CAB® 2026年第３四半期累計の国内処方額 1,854億ウォン（約204億円） ※1

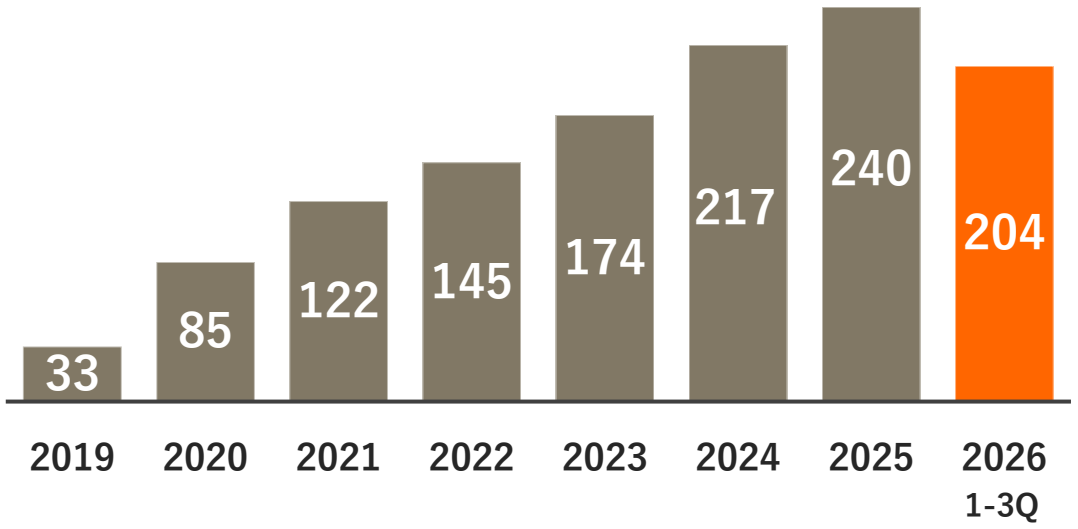
前年同期比+15.3%と引き続き好調を維持

2026年4月の外来処方売上高（全領域）においてグローバルファーマの製品を抑えて首位

韓国市場における「K-CAB®」のパフォーマンス

韓国国内処方額の年次推移

（単位：億円）



前年同期比

+15.3%

市場シェア※2

第1位

（シェア15%）

※1：院外処方実績（暫定値）
※2：韓国における胃酸分泌抑制剤市場におけるシェア
換算レート：１韓国ウォン＝0.11円

Copyright 2026 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

韓国における適応症追加

HK inno.N社がNSAIDs誘発性潰瘍の予防に関する承認を取得



NSAIDs誘発性潰瘍とは

非ステロイド性抗炎症薬（NSAIDs）の服用が原因で胃や十二指腸の粘膜が損傷を受けてできる潰瘍
上腹部の痛み、吐き気、胸やけ、消化管出血などを伴う

承認内容と臨床エビデンス

- **対象患者**：NSAIDs長期投与患者
- **比較対照**：テゴプラザン25 mg vs ランソプラゾール15 mg（PPI）
- **有効性①**：胃潰瘍・十二指腸潰瘍の発生率でランソプラゾールに対する非劣性（24週）
- **有効性②**：胸やけ症状なしの割合が対照群比で統計学的に有意に高い（12週）
- **安全性**：11種類のNSAIDsを用い、24週間の投与期間で評価

同クラス最多

6

韓国での承認適応症

EE／NERD／胃潰瘍／ピロリ菌除菌補助
EE維持療法／NSAIDs潰瘍予防

事業への示唆

市場浸透

新たな予防ニーズを取り込み、
韓国での浸透拡大に寄与

製品価値

適応症の広がりにより、
競争力をさらに強化

業績影響

今期影響は限定的、
中長期的な成長に寄与

※EE: びらん性胃食道逆流症、NERD: 非びらん性胃食道逆流症

参照：2026年7月27日当社発表「胃酸分泌抑制剤tegoprazanの韓国における新たな適応症追加に関するお知らせ」

Copyright 2026 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

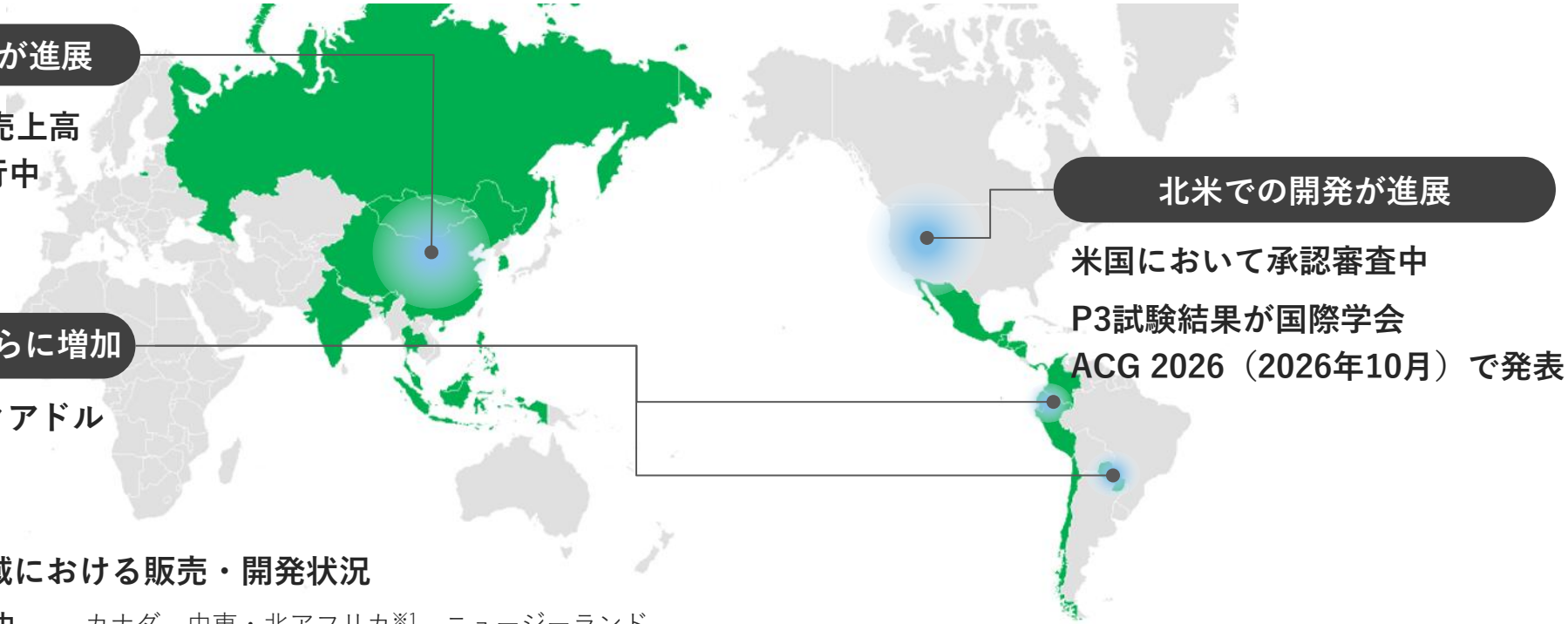
グローバル展開の状況

（2026年11月13日現在）

世界57カ国（日本を含む）での事業活動が進行中。販売国**22カ国に加え、承認取得国が増加**

販売国 ■ :

韓国　中国　モンゴル　フィリピン　インドネシア　シンガポール　メキシコ　ペルー　チリ　コロンビア　ドミニカ　ニカラグア　ホンジュラス　グアテマラ　エルサルバドル　パナマ　マレーシア　インド　タイ　ロシア　パラグアイ　エクアドル



中国での販売・開発が進展

P-CAB製品トップの売上高
注射剤の臨床試験進行中
（P3試験準備）

中南米での販売国がさらに増加

パラグアイおよびエクアドル
で販売開始

北米での開発が進展

米国において承認審査中

P3試験結果が国際学会
ACG 2026（2026年10月）で発表

その他の主要な国・地域における販売・開発状況

P3試験実施中・申請準備中	カナダ、中東・北アフリカ※1、ニュージーランド
承認審査中	ベトナム、中南米5カ国、米国、オーストラリア、南アフリカ、ブラジル、ウクライナ、中東・北アフリカ※1
承認済・発売準備中	ウズベキスタン、ベラルーシ

※1：国によって開発段階が異なります。

グローバル展開は着実に進展
開発・販売の基盤拡充が進行中

Copyright 2026 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

米国市場の成長機会

世界22カ国での販売に続き、**米国市場への参入が次の成長ステージ**

約4,000億円の大市場で既存治療（PPI）には今なお大きな未充足ニーズ

EE:びらん性胃食道逆流症（逆流性食道炎）；NERD: 非びらん性胃食道逆流症

市場機会

米国の消化性潰瘍剤市場

約**4,000億円**

世界有数の大型医薬品市場

既存治療の課題

PPIで症状が
十分に緩和されない患者

約 **4 割**

残された未充足ニーズ

長期治療ニーズ

合併症リスクが高く
長期の維持療法を要する

重症EE

治癒だけでなく維持効果が重要

テゴプラザンへの期待

速やかで持続的な胃酸分泌抑制により米国の未充足ニーズに応える可能性

出所：HK inno.N社IR資料（2025年11月）、ラクオリア創薬（2026年5月7日）、Chey WD et al. (2010); Armstrong D et al. (2023)

Copyright 2026 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

重症EEで早期治癒・長期維持を示す

テゴプラザンは重症EEの**完全治癒率・維持率でランソプラゾールを上回り、安全性は同程度**

2026年5月7日発表（DDW 2026）

TRIUMpH-EE試験の結果（実薬（ランソプラゾール）対照）

早期治癒｜重症EE・2週

+19.6 pt

74.1% vs 54.5%

重症EE 完全治癒率
対ランソプラゾール

長期維持｜重症EE・24週

+32.1 pt

76.4% vs 44.3%

重症EE 完全治癒維持率
100 mg／対ランソプラゾール

安全性・忍容性

同程度

ランソプラゾールと同程度
血清ガストリンは正常範囲内

臨床上の示唆

臨床

重症EE患者で早期治癒と長期維持の双方において明確な優越性

データの前提・補足

- ランソプラゾール（lansoprazole）：代表的なPPIのひとつ
- EEは実薬対照、NERDはプラセボ対照のため単純比較不可

出所： 2026年5月7日当社発表「国際学会DDW 2026における胃酸分泌抑制剤tegoprazanの第III相臨床試験データ発表に関するお知らせ 」

Copyright 2026 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

NERDでも胸やけのない日が有意に増加

プラセボに対し、**24時間・夜間の胸やけのない日が有意に増加**

2026年10月13日発表（ACG 2026）

TRIUMpH-NERD試験の結果（プラセボ対照）、およびEE試験の事後解析

主要｜24時間胸やけなし

+12.8 pt

30.1% vs 17.3%

24時間胸やけのない日の割合
100 mg／対プラセボ

副次｜夜間胸やけなし

+12.9 pt

39.9% vs 27.0%

夜間胸やけのない日の割合
100 mg／対プラセボ

EE事後解析｜Lyon 2.0

+14.7 pt

75.4% vs 60.7%

GERD確定例（LAグレードB～D）
2週EE治癒率／対ランソプラゾール

臨床上の示唆

臨床

投与初日から効果が現れ、
20週間の継続投与でも持続

データの前提・補足

- 50 mg群： 24時間胸やけ無し 26.2% / 夜間胸やけなし36.1%
  （ともにプラセボ比で有意）
- 20週は非盲検の継続投与期間
- Lyon 2.0はEE試験の事後解析（確定例のみ優越）
- EEは実薬対照、NERDはプラセボ対照のため単純比較不可

出所： 2026年10月13日当社発表「国際学会ACG 2026における胃酸分泌抑制剤tegoprazanの第Ⅲ相臨床試験データ発表に関するお知らせ 」

Copyright 2026 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

EE・NERD双方に、速く、持続的に効く

当社は、症状・病態を問わない有効性を背景に、**米国での承認取得と市場浸透を期待**

TRIUMpH試験が示したこと

幅広さ｜EEとNERD
びらん性（EE）・非びらん性（NERD）の
GERD双方で有効性を実証

両方に効く

速さ｜効果の発現
重症EEでは2週間で早期治癒
NERDで投与初日から効果が現れる

初日から

持続｜長期の維持
重症EEで24週間の治癒維持
NERDは20週間の継続投与でも改善が持続

続けて効く

米国での申請状況

申請済みの3つの適応（米国）

- EEの治癒
- EE治癒後の維持療法
- NERD

2026年1月
FDAへ3つの適応で承認申請済み

2027年1月
承認取得見込み

Copyright 2026 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

ペット用医薬品｜上市３製品

既販売国において**安定的な売上を継続**



EP4拮抗薬

GALLIPRANT®

- 日米欧ほかで販売中
- 2021年にブロックバスター製品[1]に成長[2]

一般名	grapiprant （グラピプラント）
適応症	犬の慢性骨関節炎
販売元	Elanco Animal Health Inc.（米国／Elanco社）



グレリン受容体作動薬

ENTYCE™

米国で販売中

ELURA™

米国・欧州・日本ほかで販売中

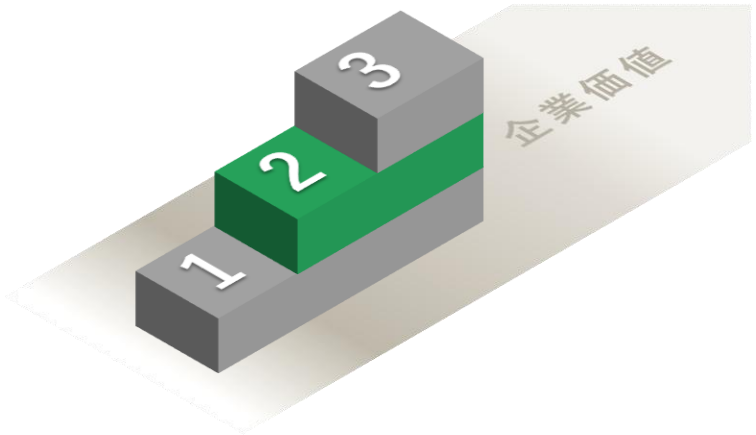
一般名	capromorelin（カプロモレリン）
適応症	犬の食欲不振（ENTYCE™） 慢性腎疾患またはその他の慢性疾患を伴う猫の体重減少管理[3]（ELURA™）ほか
販売元	Elanco社

1) ここでは年間売上高が100億円を超える規模の製品のことをブロックバスターと称しています; 2) Elanco社 2021年度決算発表（2022年2月24日）; 3）適応症は国・地域によって異なります。

Copyright 2026 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

RaQualia
innovators for life

4 三層の企業価値：2階
導出資産・パイプライン価値



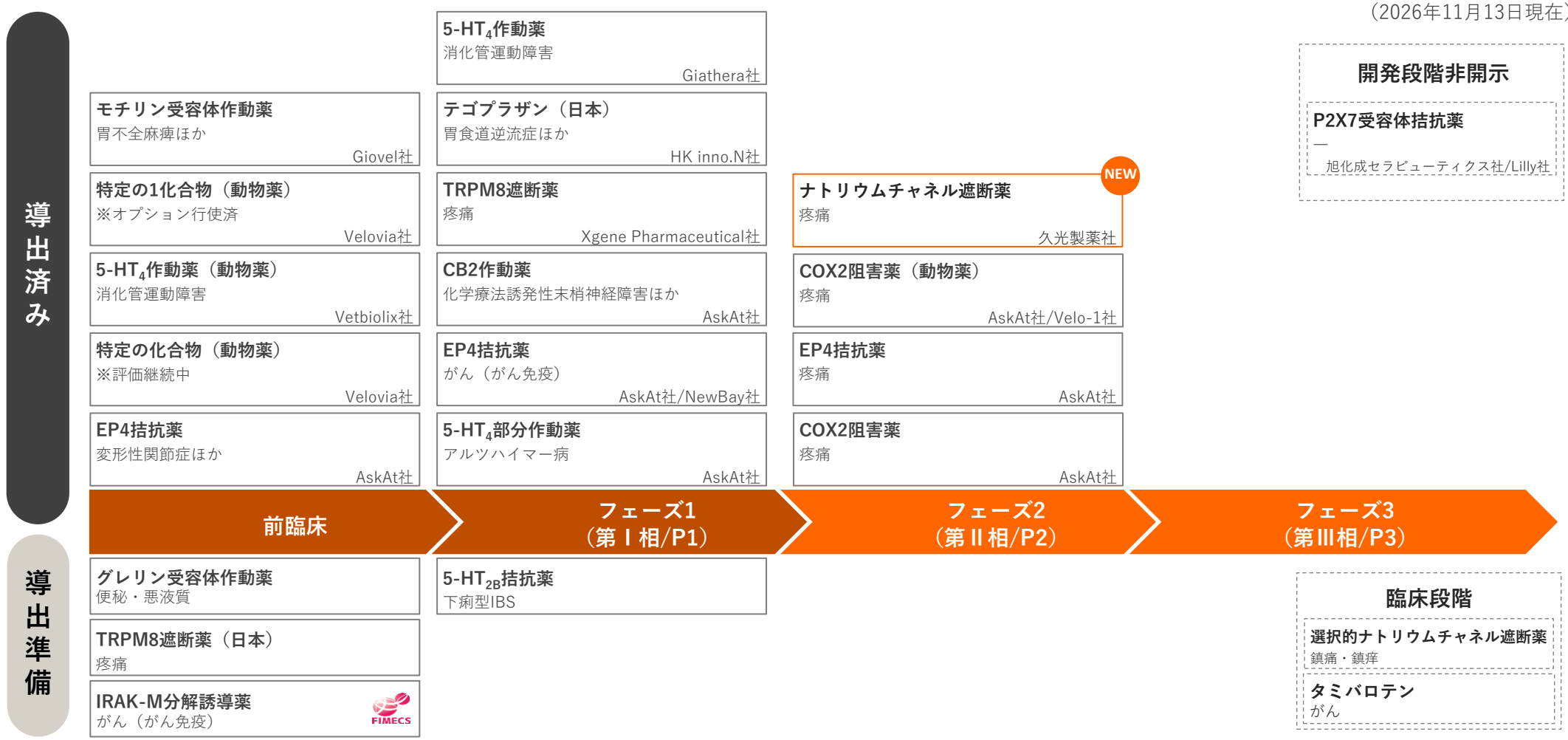
innovators for life

Copyright 2026 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

研究開発パイプラインの状況

久光製薬社に導出済みの**ナトリウムチャネル遮断薬の第Ⅱ相臨床試験が開始**

（2026年11月13日現在）

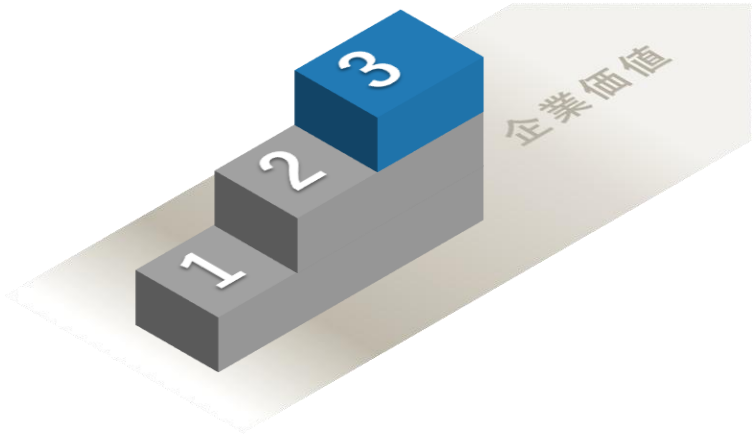


注1）国・地域によって開発段階に差がある場合は、最も進んだ段階を表示しています。
注2）動物薬については、POC試験を前臨床試験、パイロット試験をフェーズ2試験、ピボタル試験をフェーズ3試験として表示しています。
注3）「開発段階非開示」および「臨床段階」の3プログラムの開発段階は非開示であり、上図はこれらがフェーズ３段階にあることを意味するものではありません。

Copyright 2026 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

RaQualia
innovators for life

5 三層の企業価値：3階
創薬基盤・新規成長領域



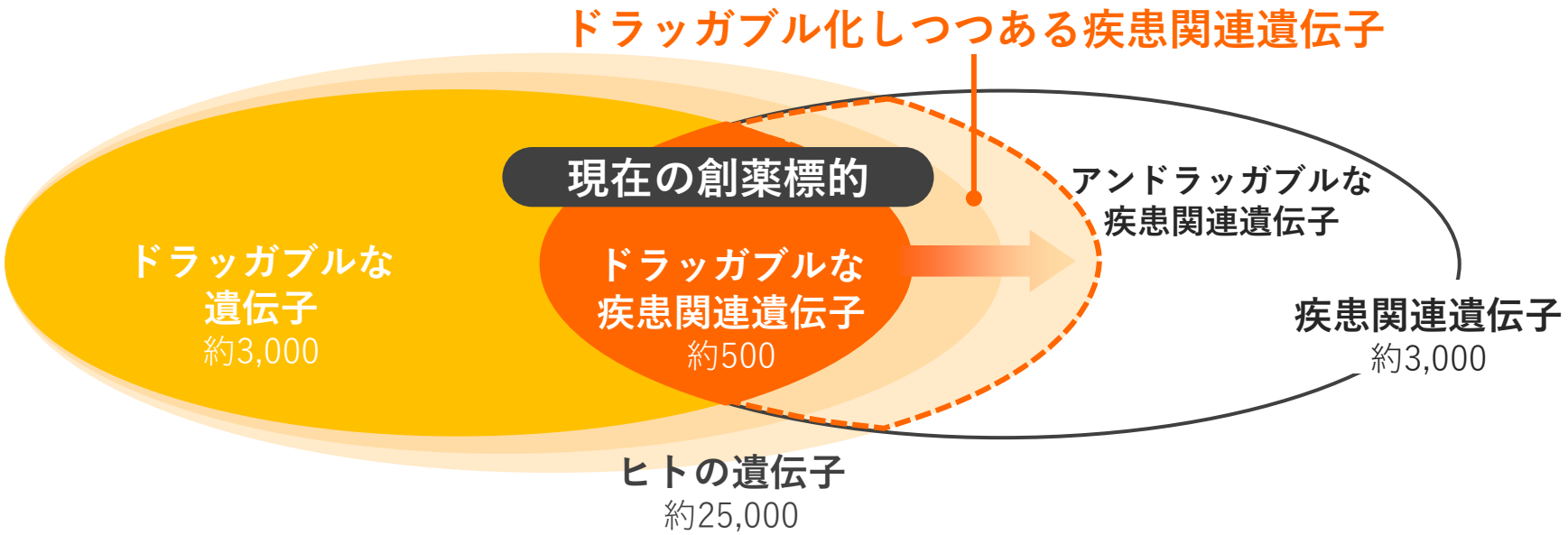
innovators for life

Copyright 2026 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

未充足のニーズに応える画期的新薬を患者さんのもとに

医薬品の創出が困難とされてきた疾患関連遺伝子を**創薬力の強化**によって開拓する

アンドラッガブル を ドラッガブル へ



※ドラッガブルとは、化合物・抗体等の物質により受容体等の標的の分子の機能を調節できる可能性が高いことを意味し、ドラッガブルかそうでないかによって新薬候補を生み出せるかどうかが大きく左右されます。

Int .J.Biochem.Cell Biol., 39, 1156 (2007) に基づき当社作図

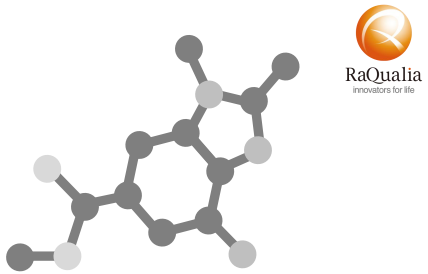
Copyright 2026 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

創薬研究基盤｜低分子化合物および新規モダリティ

当社が実績を持つ低分子化合物に注力しつつ、標的タンパク質分解誘導剤（TPD）を中心に、新規モダリティへの展開を図り、**アンドラッガブルなタンパク質**に挑む

新規モダリティの活用により**効率的かつ持続的に新規パイプラインを創製**する

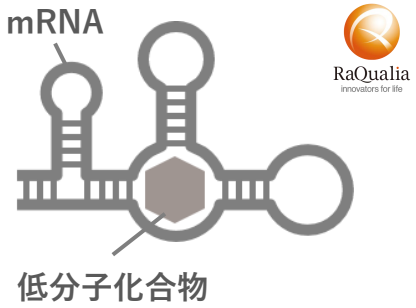
低分子化合物



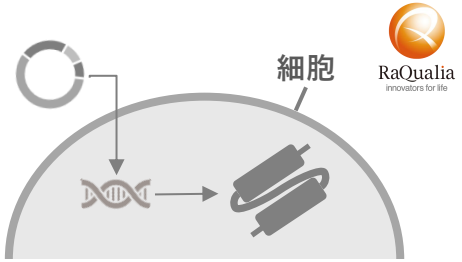
標的タンパク質分解誘導剤
（TPD）



mRNA標的低分子



細胞内抗体
（intrabody）



最も普及したモダリティ

- 当社が豊富な実績を保有
- 一般的に経口投与可能

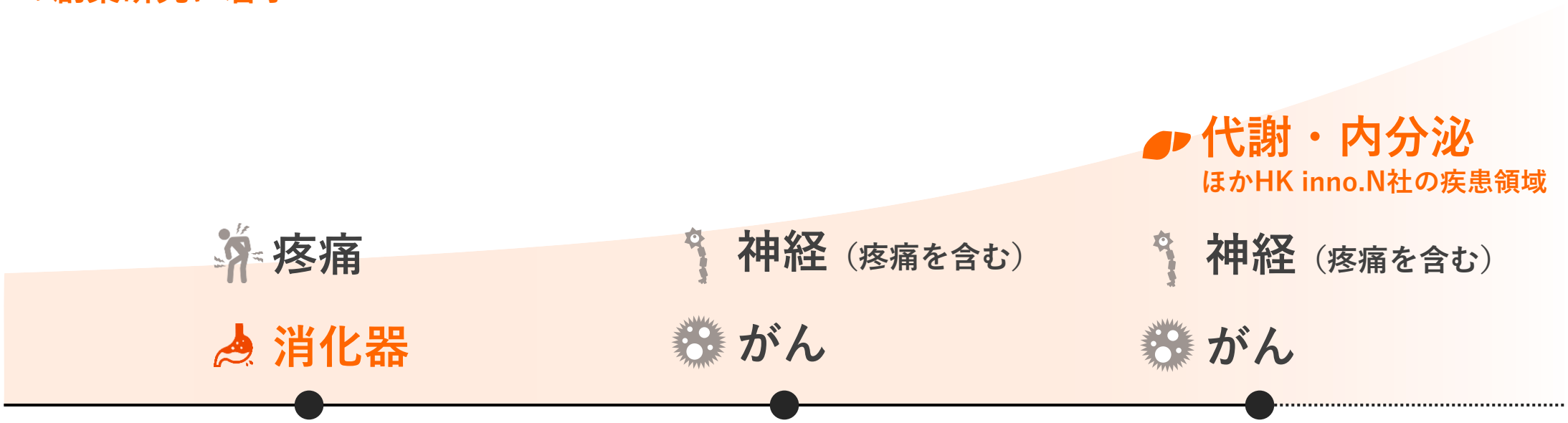
近年注目を浴びる新規モダリティ

- 疾患の原因タンパク質を分解することで効果を発揮
- 経口投与可能な薬剤が増加
- mRNAに結合してタンパク質の生成を抑制
- 経口投与の実現可能性大
- 細胞内で機能する抗体
- 経口投与は困難

Copyright 2026 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

HK inno.N社との協業による疾患領域の拡大

重点領域である神経疾患・がんに加え、**HK inno.N社との共同研究により、代謝・内分泌疾患領域の創薬研究に着手**



創業期～2020年

CJ社（現HK inno.N社）への**テゴプラザンのライセンス**で協業が開始（2010年）

2021年～2025年

イオンチャネル/GPCRの技術を活かし神経疾患へ拡張、ファイメクス子会社化でがんを強化

2026年～2028年（進行中）

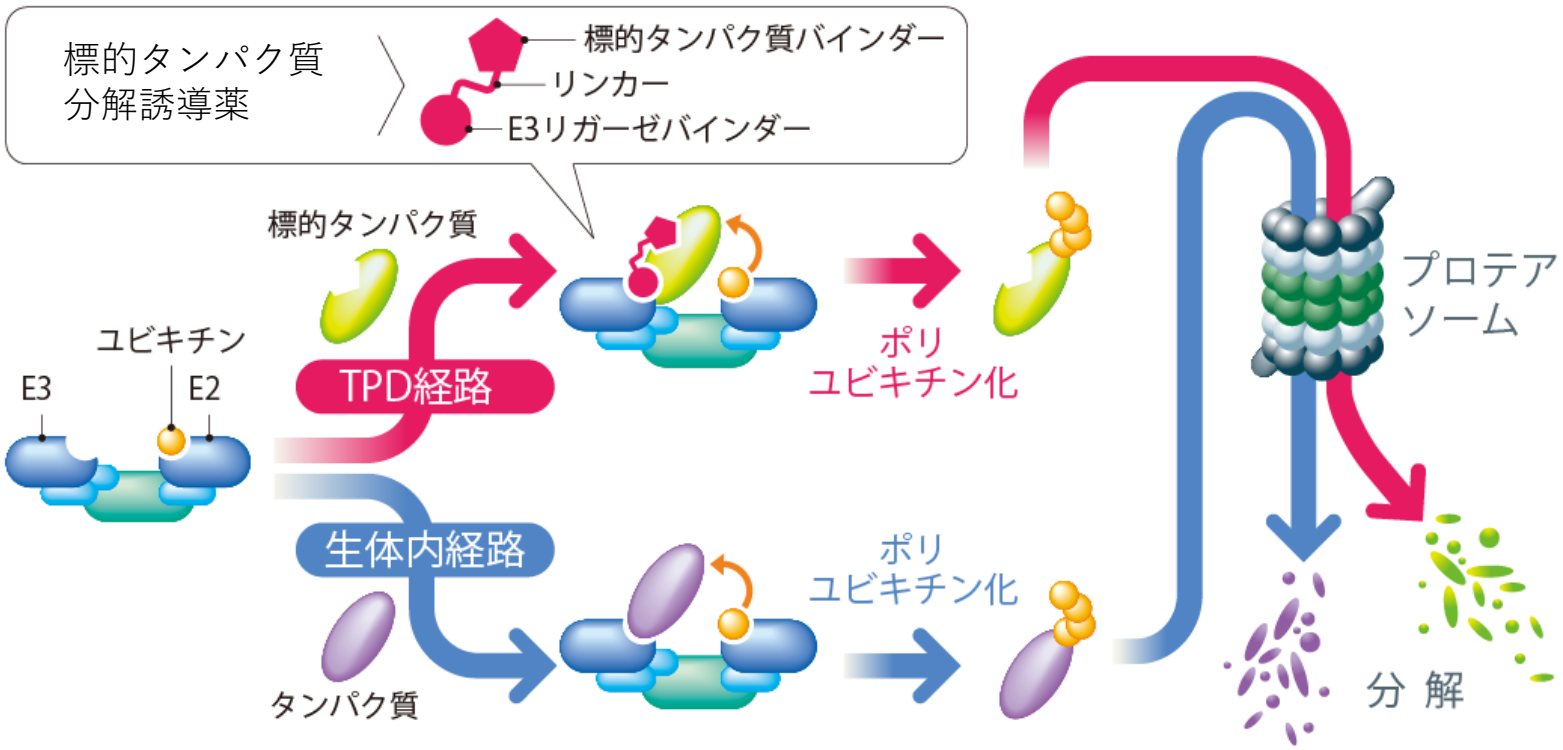
HK inno.N社**が強みを持つ代謝・内分泌疾患領域**に進出し、探索研究を推進中

創業期から続くHK inno.N社との協業を土台に「第二、第三のテゴプラザン」の萌芽へ

Copyright 2026 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

標的タンパク質分解誘導剤（TPD）

生体内に備わる不要タンパク質除去機構を利用した**新たなモダリティ**



幅広い標的タンパク

触媒的に作用

低用量での薬効の持続性

2026年5月世界初のTPDが米国で承認※1-2

※1：キメラ型分子型標的タンパク質分解誘導薬（キメラ分子型誘導薬）として世界初
※2：2026年5月1日　Arvinas社とPfizer社が共同で開発していたvepdegestrantについて、ER陽性（ER+）、HER2陰性かつ ESR1変異陽性 で内分泌療法後に進行した進行・転移乳癌を対象とした製造販売承認を取得（https://ir.arvinas.com/news-releases/news-release-details/arvinas-announces-fda-approval-veppanu-vepdegestrant-treatment）

Copyright 2026 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

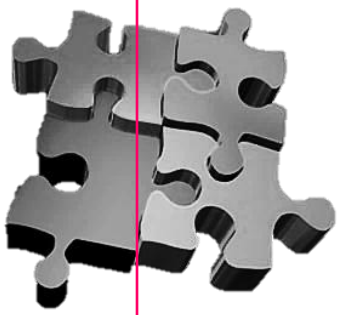
RaPPIDS™｜E3リガーゼの選択肢を拡張するプラットフォーム

RaPPIDS™はE3リガーゼの選択肢を広げることで、**TPD創薬の適用範囲と開発効率を向上**させる

Rapid Protein Proteolysis Inducer Discovery System

高い生産性

- 週あたり1,500以上の分解誘導剤を高スループットで合成・評価
- 迅速な創薬探索とリード最適化を実現



新規E3の同定に向けたフェノタイプ重視アプローチ

- 「フェノタイプファースト」
- 適切なE3リガーゼ特定のための革新的手法
- 治療応用の幅を拡大する分解剤の創出を支援

独自の新規E3リガーゼ

- TPDへの幅広い応用が可能
- 組織特異的な発現プロファイル
- 有効性を維持しつつ毒性を抑制する設計
- 経口分解剤創出の高いポテンシャル

経口投与可能な分解剤設計の専門性

- 経口投与可能な分解剤の設計に関する知見
- TPDのバイオアベイラビリティ課題を解決するソリューション

E3リガーゼ活用領域の拡張

Copyright 2026 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

HK inno.N社との戦略的協業が三層の価値創出を加速

テゴプラザンをはじめとする上市品のロイヤルティで現在を支え、**導出資産で短中期の価値**を生み、
創薬基盤で中長期的な成長を実現する

創薬基盤で中長期の成長

HK inno.N社との共同研究により、
同社が強みを持つ代謝・内分泌疾患領域へ進出

導出資産で短中期の価値

共同研究成果等についてHK inno.N社の開発力と
グローバルネットワークにより導出機会を拡張

テゴプラザンの価値最大化

テゴプラザンの日本国内での事業化を
HK inno.N社に託し、その他の国・地域でも
両社の連携により価値最大化



HK inno.N社との戦略的協業は、価値創出を加速する推進力として当社の成長を後押しする

Copyright 2026 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

RaQualia
innovators for life

6 市場評価・株価推移

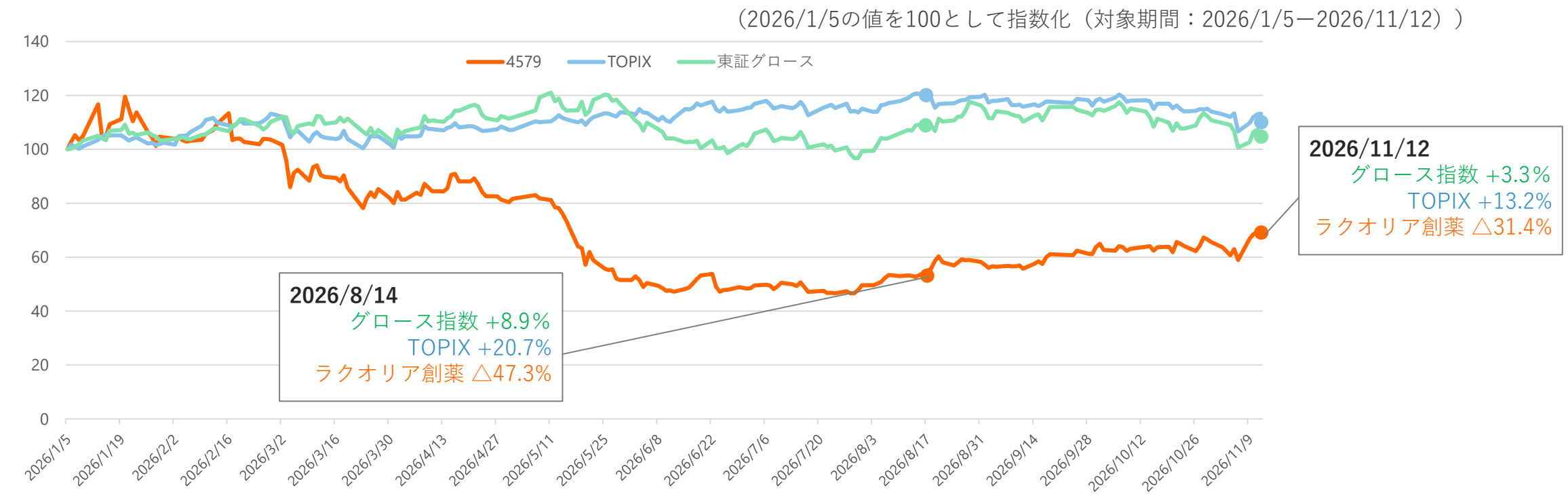
innovators for life

Copyright 2026 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

市場評価と企業価値顕在化に向けた課題

前回発表時（8/14）の△47.3%からは下落幅が縮小したものの、年初来の株価は、TOPIX・東証グロース指数を下回って推移（11/12 時点：当社△31.4%、TOPIX＋13.2%、グロース＋3.3%）
足元の事業価値と将来の成長可能性を**市場評価につなげきれていない**
三層構造の成果を可視化することで継続的な企業価値向上に結び付ける

ラクオリア創薬　相対株価



Copyright 2026 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

RaQualia
innovators for life

7 今後のカタリスト

innovators for life

Copyright 2026 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

今後想定する主なカタリスト

2026年12月期
第３四半期

	プログラム	想定適応症	権利地域	研究開発段階	短期（2026年）	中期（2027～2028年）	導出先/提携先
1階 安定収益基盤	テゴプラザン	胃食道逆流症ほか	米国	承認審査中	承認審査	承認取得 製品発売	HK inno.N社 Sebela社/Braintree社
			日本	フェーズ１	後期臨床試験の実施		HK inno.N社
			欧州	前臨床	導出＆後期臨床試験の実施		HK inno.N社 提携先企業
2階 導出資産 パイプライン 価値	ナトリウムチャネル遮断薬	疼痛	全世界	フェーズ２	臨床試験の進展		久光製薬社
	TRPM8遮断薬	疼痛	全世界（日本を除く）	フェーズ１	臨床試験の進展		Xgene Pharmaceutical社
	5-HT$_4$作動薬	消化管運動障害	全世界	フェーズ１	開発計画具体化	後期臨床試験の実施	Giathera社
	モチリン受容体作動薬	胃不全麻痺ほか	全世界	前臨床	開発計画具体化	臨床試験の実施	Giovel社
	P2X7受容体拮抗薬	未定	全世界	（非開示）	開発計画の再検討＆開発再開		旭化成セラピューティクス社 Lilly社
	グレリン受容体作動薬	便秘・悪液質	全世界	前臨床	導出	臨床試験の実施	―
	IRAK-M分解誘導薬	がん（がん免疫）	全世界	前臨床	臨床開発準備 導出	臨床試験の実施	―
3階 創薬基盤 新規成長領域	既存共同研究プログラム	がん	全世界	研究	共同研究の進展（マイルストン）		アステラス製薬社
	新規共同研究プログラム	未定	全世界	研究	新規契約獲得		―

想定される進捗イベントの内容や時期は、現在における見込み、予測およびリスクを伴う当社独自の想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
権利地域は導出・提携における権利の対象地域を示し、臨床試験の実施地域とは異なる場合があります。テゴプラザンは、国・地域ごとの開発段階を示しています

Copyright 2026 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

今後の重点方針

4つの重点方針を進め、**収益基盤の強化と将来の成長**につなげる

重点方針		主な取り組みと目指す成果
1	**テゴプラザン価値最大化**	米国市場への展開と販売国・適応症の拡大を通じ、**ロイヤルティ収入の拡大を目指す**
2	**導出資産の開発加速**	導出済みパイプラインの開発進展と新たなライセンス導出の実現により、**マイルストン収入の拡大を目指す**
3	**成長ドライバー創出**	共同研究と技術提携を通じ、**将来の成長を担う開発候補品を創出する**
4	**投資規律・開示の強化**	優先順位に沿った投資配分で**収益性の向上を図り**、進捗と価値創出の発信を通じて**市場評価を高める**

Copyright 2026 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.

イノベーションの力で、いのちに陽をもたらす

RaQualia
innovators for life

ラクオリア創薬株式会社

当社のプレスリリースや決算発表等の情報をタイムリーにお知らせいたします

IRニュースメール登録

Copyright 2026 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved.